

日本におけるデジタル化の状況

G584202025 伊田 大輝

2025 年 7 月 7 日

1 ブローバンドの整備状況

OECD によるブローバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブローバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

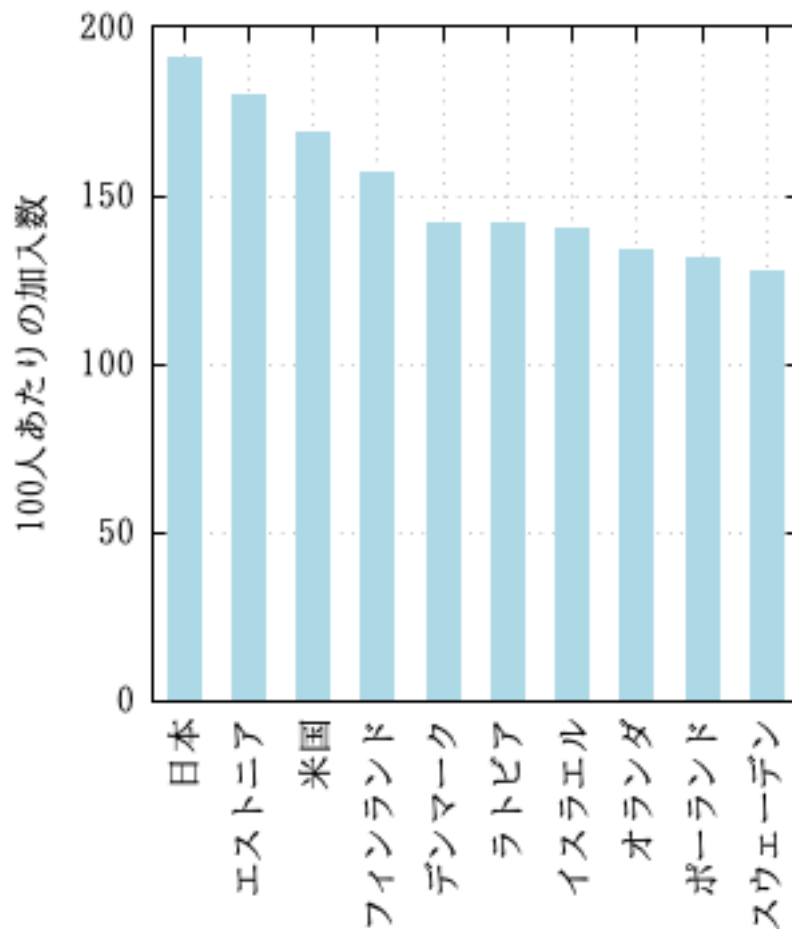


図 1: 光ファイバー回線の加入者数 (100 人あたり)

2 デジタル競争力ランキング

国際経営研究所 (IMD) の調査 [2] によると、日本のデジタル競争力ランキングは表 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、準備分野で 27 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング (64 カ国中)

国	総合	準備
米国	1 位	1 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	6 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	11 位
韓国	12 位	5 位
中国	15 位	17 位
日本	28 位	27 位

3 考察

- 日本はインフラが整っているがリスク回避志向が強く、新規事業や IT 活用に積極的でない企業が多いため、デジタル化の進展が遅れる。
- 現在の日本は IT 人材が不足していて、教育や研修も追いついていないので、新しい技術の普及が進みにくい
- 通信インフラの普及率はあまり競争力には繋がらない

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.